

市民活動状況

市内NPO法人数	33 団体
当センター登録団体数	145 団体
当センター登録会員数	6,808人
6月来館者数	701人
6月印刷機利用枚数	13,525枚

龍ヶ崎市市民活動センターだより VOL.132

2020年8月号

ひびき



発行枚数 650枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 田沼信之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。
会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や
大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。
開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。
休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日

〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571

E-mail r-suwan@titan.ocn.ne.jp URL <http://r-shimin.sakura.ne.jp/>

今月のトップニュース

センター長の「目指せ！市民活動日本一」 その90

龍ヶ崎市市民活動センターのコロナ拡散防止インフォメーションシステム
3/10スタートしたコロナ拡散防止策として臨時休館。6/9一部制限を設けての再開。
三密を避けての6月の利用者数は前年比30%。
先を見通せない新しい生活様式と感染情報の中で、市民活動センターの最大利用者層は
70歳台。各団体には、それぞれの事情に合わせた判断の中でご利用いただいで
いる。

市民活動センターの運営方針は「利用者第一主義」。

解りやすい利用方法と、利用者にも協力

していただきたいいくつかの作業

を館内にビジュアル化しました。

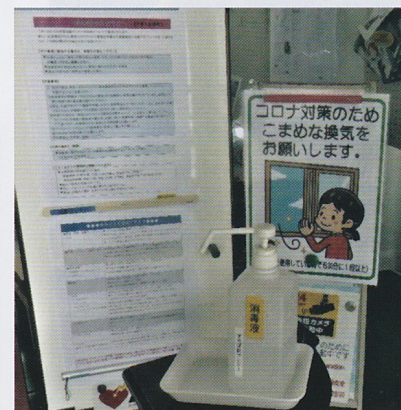
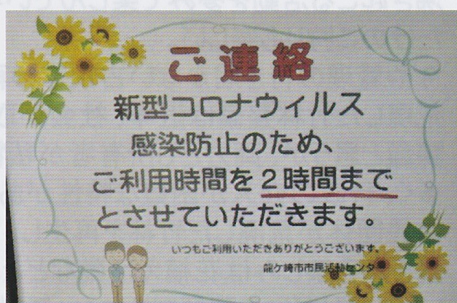
皆様のご理解とご協力のおかげ

で健全且、楽しい居場所の提供に

努めています。

8月からは「2時間まで」の時間制

限が緩和されます。



石蔵でのシンポジウム「龍ヶ崎市まちなか再生プラン」に参加して

渋谷で活躍する「比較住宅都市研究会」という組織がある。

龍ヶ崎の目指す「コンパクトシティー構想」の概要についてマスタープラン策定を担当した森川裕貴氏(日本工営・株)を招いてのシンポジウムを開催していただいた。

龍ヶ崎市民としてとても有難い試みと感じている。専門家の提案はとても新鮮に感じた。その後に参加者からの意見交換が行われた。

会場にはNPOまちづくり協会顧問、つくば大学大学院生、建設環境研究所、東大大学院、地元の住人・・・他多彩な参加者がワイワイガヤガ!

とにかくまわり道してでもこのような関心がまちなかに湧いてくることこそが、元気の源になるものと感じた。



お知らせ: 星空観察会の中止について

夏休みのお子さんの楽しみなイベント夏の星空観察会は、コロナ感染症拡大防止の為中止となりました。

夏の星空観察会に期待していましたが、



新利用団体紹介

「NPO法人龍ヶ崎ゲヴァントハウス」

7月4日(土)、活動センターPC室にて、オリジナルCDコンサートに参加しました。

1982年に会が生まれてから、38年間活動を続けている伝統ある団体で、放送局で収録したライブ音源を主体に開催している。

1月まで活動していたリブラの旧映画館が閉鎖となり、3月から市民活動センターで開催することになったという。

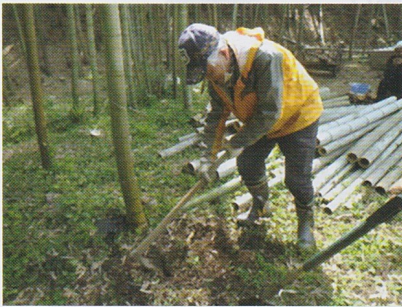
コンサート終了後 参加した女性にお聞きしたら「音を家で聴くのとは大違い！ 臨場感が凄い。演奏の空気を感じる。」と感激の面持ち。

こうした無料で毎月クラシックCDコンサートを開いている団体は全国的にも大変珍しいようで、音楽関係者のゲストを呼んで開催する時には、北海道、福島、名古屋からも聴きに来るという。

現在は、コロナへの対応で人数を制限しているが、終息したら、有名人でも呼んで盛大にやりたいと思っていると代表の羽村理事長の話でした。



竹林整備活動の紹介



龍ヶ崎で環境保全活動に取り組む市民団体「八代竹林・ブドウ園整備保存の会／略称 八保会」を紹介します。荒廃した竹林の伐採、農園開拓、自然エネルギー発電・送配電、駐車場の整備、竹製品の商品開発、竹灯籠・まつりの企画。曾ヶぞれが役割を持ち、沸き起こる活動を夢みて楽しんでいる。

たけのこ狩りも楽しい。

今や管理の行き届かない古民家の再生とともに、荒廃した竹林整備は近年、社会が取り組むべき重要課題と思うが、両方とも所有者が私物である場合が多く、行政の介入が困難な特性がある。

市民団体が荒廃した竹林を再生し、すがすがしい環境を創る楽しみは花植え活動などとともに、当事者にしか、やりがいを感じにくい活動だと思う。

市民団体が社会のために、企業と連携して地域環境の向上に取り組む活動も「あり」かなあと感じている。いま注目されている「市民資源」の活用策だと思います。

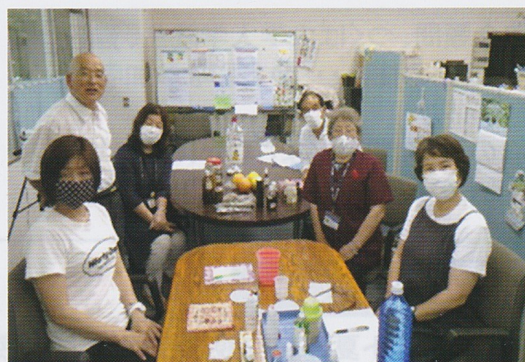
市民活動センター今月のインターネットライブ放送の紹介

「アロマクラフトでコロナウイルスを抗菌」

アロマを吸うと繊毛の動きが活発になり、呼吸器系から侵入する細菌やウイルスの動きを鈍くする働きが生まれるという。IFA認定アロマクラフトセラピストによる製作実演とスプレー体験を楽しんだ。

講師の大井川裕代氏による教室を開設し、自分だけの好みの香りを楽しみながらウイルス抗菌活動を展開しています。

番組は市民活動センターホームページからご覧いただけます。



龍ヶ崎短歌会

湖畔にて友の奏でる「カリナのやさしき音色」時代聞きいる
庭石の間に自生の海老根蘭楓わか葉の木洩れ日うけて

吉田 綾子
山川 澄子